

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
一般国道5号	創成川通	L=4.8Km	二次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
29,300~65,200	4	北海道開発局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和2年度		
単純合計	1,091億円	67億円	1,158億円
基準年における 現在価値(C)	846億円	20億円	865億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和2年度			
供用年	令和13年度			
単年便益 (初年便益)	83億円	7.3億円	2.3億円	92億円
基準年における 現在価値(B)	1,025億円	91億円	28億円	1,144億円

③ 結果

費用便益比 (B / C)	1.3
経済的純現在価値 (B - C)	278億円
経済的内部収益率 (EIRR)	5.6%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	29,300~65,200	±10%	1.1~1.5
事業費	1,091億円	±10%	1.2~1.5
事業期間	10年	±20%	1.2~1.4

交通状況の変化

事業名:創成川通

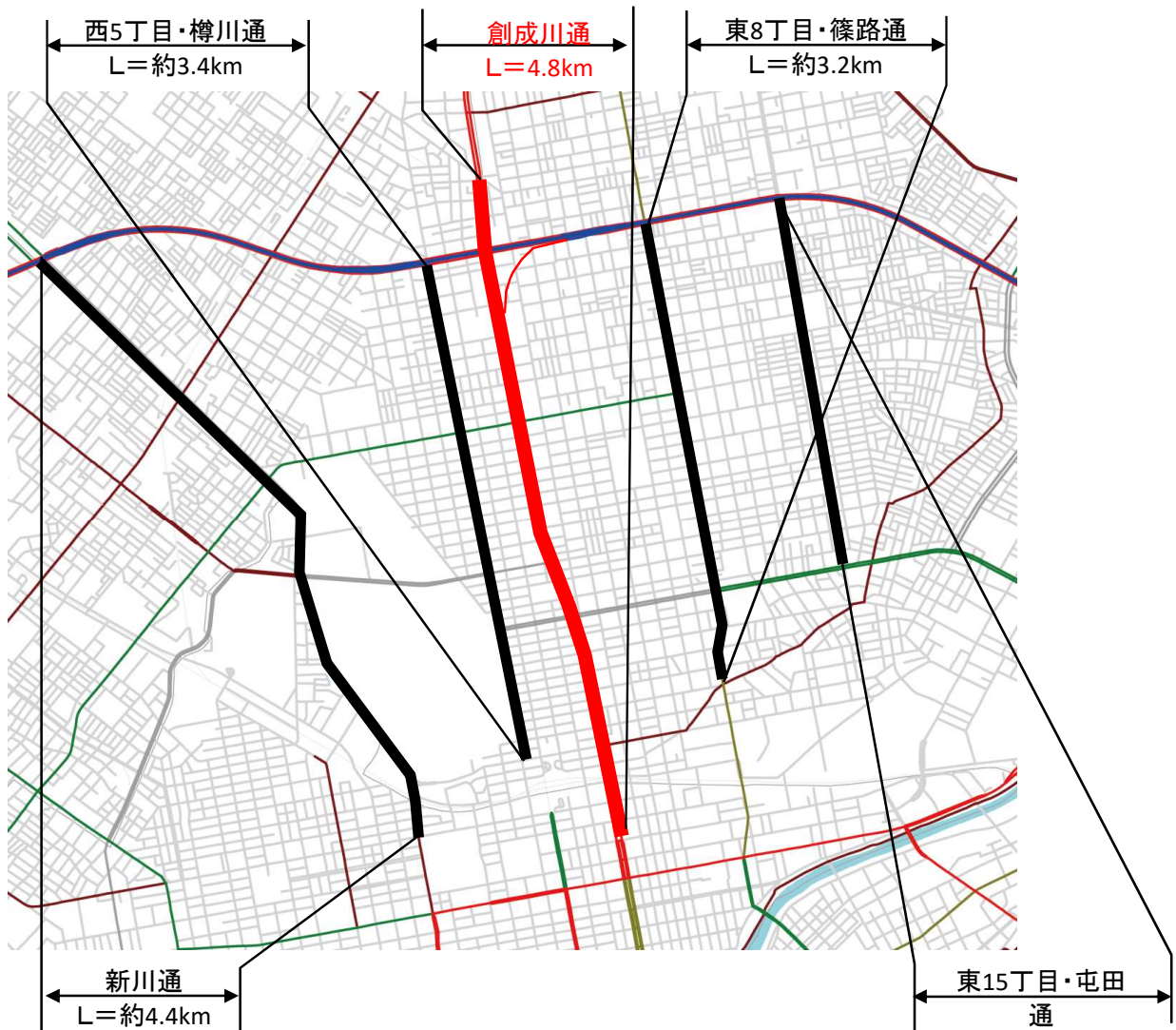
(推計時点 R12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等]	交通量	[台/日]	0	28,200	
	走行時間	[分]	0.0	5.1	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	26.03	
4.8km					
②主な 周辺道路	現道(一般国 道5号(創成 川通))	交通量	[台/日]	29,300	21,200
		走行時間	[分]	10.2	8.2
		走行時間費用	[億円/年]	54.49	33.82
	4.4km				
	東8丁目・篠 路通	交通量	[台/日]	16,400	11,800
		走行時間	[分]	7.2	6.4
		走行時間費用	[億円/年]	21.58	13.56
	3.2km				
	東15丁目・屯 田通	交通量	[台/日]	16,400	12,900
		走行時間	[分]	5.3	4.9
		走行時間費用	[億円/年]	15.76	11.36
	2.5km				
	西5丁目・樽 川通	交通量	[台/日]	19,300	12,800
		走行時間	[分]	8.3	7.1
		走行時間費用	[億円/年]	29.60	17.00
3.4km					
新川通	交通量	[台/日]	24,900	20,000	
	走行時間	[分]	9.7	9.0	
	走行時間費用	[億円/年]	44.54	33.27	
4.4km					
③その他道路合計 26,334.4km	走行時間費用	[億円/年]	17,475.38	17,422.91	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 26,357.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	17,641.35	17,557.95	83.40

事業名：創成川通

【 図面(①、②)に該当する道路を明示すること】



費用便益分析の条件

事業名: 創成川通

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	■	
	その他	□	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和2年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	■(R12)
		複数時点での推計	□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	■
		整備の有無のいずれかのみ推計	□有 □無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	■ (H22センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	□
		その他()	□
	開発交通量の考慮	無	■
		有	□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	□
転換率式を用いた配分		□	
Q-V式と転換率式の併用による配分		■	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		□	
簡易手法		□	
簡易手法の採択理由		小規模事業である	□
		山間部海岸部で併行道路が少ない	□
	その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		□	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	■	
	採用理由を記載	交通容量未滿・以上の路線が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の生ずる加重平均速度を用いた。	
	最終配分の速度	□	
	採用理由を記載		
その他()		□	

事業名：創成川通

(3)

		項目	チェック欄	
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	()%
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	()日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	(127)日
			採用した冬期日数の考え方を記載 当該地域の直近3カ年(平成29年～令和元年)における最低気温0℃以下かつ積雪1cm以上を満たす日数とし、127日と設定	
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 Vmax、Vminについて低減	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
その他 ()		<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道5号 創成川通

					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
					0.308	4.8	1.48	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	
-10年目	R 3	0.9615	102.80	4.55	4.37			
- 9年目	R 4	0.9246	102.80	22.73	21.01			
- 8年目	R 5	0.8890	102.80	72.72	64.65			
- 7年目	R 6	0.8548	102.80	136.36	116.56			
- 6年目	R 7	0.8219	102.80	145.45	119.55			
- 5年目	R 8	0.7903	102.80	145.46	114.95			
- 4年目	R 9	0.7599	102.80	145.46	110.53			
- 3年目	R 10	0.7307	102.80	145.46	106.28			
- 2年目	R 11	0.7026	102.80	136.36	95.81			
- 1年目	R 12	0.6756	102.80	136.37	92.13			
供用開始年次	R 13	0.6496	102.80			1.34	0.87	
1年目	R 14	0.6246	102.80			1.34	0.84	
2年目	R 15	0.6006	102.80			1.34	0.81	
3年目	R 16	0.5775	102.80			1.34	0.78	
4年目	R 17	0.5553	102.80			1.34	0.75	
5年目	R 18	0.5339	102.80			1.34	0.72	
6年目	R 19	0.5134	102.80			1.34	0.69	
7年目	R 20	0.4936	102.80			1.34	0.66	
8年目	R 21	0.4746	102.80			1.34	0.64	
9年目	R 22	0.4564	102.80			1.34	0.61	
10年目	R 23	0.4388	102.80			1.34	0.59	
11年目	R 24	0.4220	102.80			1.34	0.57	
12年目	R 25	0.4057	102.80			1.34	0.55	
13年目	R 26	0.3901	102.80			1.34	0.52	
14年目	R 27	0.3751	102.80			1.34	0.50	
15年目	R 28	0.3607	102.80			1.34	0.48	
16年目	R 29	0.3468	102.80			1.34	0.47	
17年目	R 30	0.3335	102.80			1.34	0.45	
18年目	R 31	0.3207	102.80			1.34	0.43	
19年目	R 32	0.3083	102.80			1.34	0.41	
20年目	R 33	0.2965	102.80			1.34	0.40	
21年目	R 34	0.2851	102.80			1.34	0.38	
22年目	R 35	0.2741	102.80			1.34	0.37	
23年目	R 36	0.2636	102.80			1.34	0.35	
24年目	R 37	0.2534	102.80			1.34	0.34	
25年目	R 38	0.2437	102.80			1.34	0.33	
26年目	R 39	0.2343	102.80			1.34	0.31	
27年目	R 40	0.2253	102.80			1.34	0.30	
28年目	R 41	0.2166	102.80			1.34	0.29	
29年目	R 42	0.2083	102.80			1.34	0.28	
30年目	R 43	0.2003	102.80			1.34	0.27	
31年目	R 44	0.1926	102.80			1.34	0.26	
32年目	R 45	0.1852	102.80			1.34	0.25	
33年目	R 46	0.1780	102.80			1.34	0.24	
34年目	R 47	0.1712	102.80			1.34	0.23	
35年目	R 48	0.1646	102.80			1.34	0.22	
36年目	R 49	0.1583	102.80			1.34	0.21	
37年目	R 50	0.1522	102.80			1.34	0.20	
38年目	R 51	0.1463	102.80			1.34	0.20	
39年目	R 52	0.1407	102.80			1.34	0.19	
40年目	R 53	0.1353	102.80			1.34	0.18	
41年目	R 54	0.1301	102.80			1.34	0.17	
42年目	R 55	0.1251	102.80			1.34	0.17	
43年目	R 56	0.1203	102.80			1.34	0.16	
44年目	R 57	0.1157	102.80			1.34	0.16	
45年目	R 58	0.1112	102.80			1.34	0.15	
46年目	R 59	0.1069	102.80			1.34	0.14	
47年目	R 60	0.1028	102.80			1.34	0.14	
48年目	R 61	0.0989	102.80			1.34	0.13	
49年目	R 62	0.0951	102.80			1.34	0.13	
合計				1,090.91	845.85	67.20	19.51	
単純事業費計				1,090.91		67.20		

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名:一般国道5号 創成川通

Table with columns for Year (年度), Vehicle Type (乗用車, 小型貨物, 普通貨物, 全車), Rate (割合率), GDP Deflator (GDP デフレータ), Running Time Reduction (走行時間短縮便益), Running Cost Reduction (走行経費減少便益), Accident Reduction (事故減少便益), and Total (合計). Rows include initial year (供用開始年次) and years 1 through 62.